

「令和元年度の施策評価に関する追加意見」及び「今後の課題や必要と考える取組み」

1 令和元年度の施策に対する評価 追加意見

項目	意見
基本施策 1 全般（市民活動の裾野の拡大）	
重点施策（市民活動のきっかけづくり）	
基本施策 2 全般（市民活動の促進と自律・自立に向けた支援の充実）	
重点施策（市民活動に関する学びの機会の提供）	
重点施策（コーディネート機能の強化）	
基本施策 3 全般（市民活動の場の利用促進）	
基本施策 4 全般（課題解決のための「連携と協働」の推進）	

2 今後の課題や必要と考える取組み（令和 2 年度までの施策や社会状況を踏まえて）

コロナ禍で令和 2 年度までのリアルでの大規模イベントや祭りの開催が難しく、オンラインとの併用などで、それぞれの分野で工夫がはじまっている。

オンラインの取り込み方で、市民活動にも大きな格差が生まれようとしている。

そうした状況の把握（市民活動団体にアンケートなど）につとめ、今後の取組みとして、オンラインや SNS などの情報格差がひろがらないための取組みや新たなコミュニティのセーフティネットづくりを次年度からの取組みに入れてもらいたい。

たとえば、コミセン全体として WIFI やオンライン環境をサポートしたり、ルールに差が出ないように運営委員向けの活用講座やスキルアップ、備品などの購入を検討する。また、オンラインを使った情報サービスステーションとして生活の課題を相談できる専門家や窓口との連携をコーディネートし、コミュニティネットワークとしてわかりやすく市民に提示できるとよいと思う。